

中型液晶 TV の補助スピーカーBOSE SOLO TV の上手な使い方

この BOSE SOLO は液晶 TV の置き台のような形状で、設置も接続も極めて簡単です。

使用してみると細かいサウンドがよく聴こえてきます。低域側も高域側もレンジが伸びているのですが、一部の BOSE 製品にみられるような低域の不自然な誇張もなく、ごく自然なサウンドで好ましい印象です。

液晶 TV の内蔵スピーカーでは決して分からなかったドキュメンタリー番組の野外録音の低域側の暗騒音もはっきり聴き取ることが出来ます。こうなるといやがうえにも臨場感が高まります。

さて、こうした補助スピーカーや外部の AV アンプを使用する際は TV 側の音声をオフにすべしということが TV 側の取説にも書かれていますし、勿論 BOSE SOLO の取説にもそうした指示が記載されています。

これは一体何故か？ということですが、BOSE SOLO と液晶 TV を RCA ケーブルで接続してみるとその理由がはっきり分かります。TV から出る音声と SOLO の音声がずれるという現象が起こります。

これでは大変聴き辛く、やはり TV の音声をオフにせざるを得ません。

しかし、真っ当な映画館の音声の出し方はどうなっているかということ、スクリーンに小さな穴が沢山開いていて、スクリーンの背後に巨大なスピーカー群が設置されています。まさに映像から音声が出ているわけです。

BOSE SOLO の場合、液晶 TV の画面からそう離れているわけではありません。しかしそれでも画面とサウンドがやや分離してしまうという印象になります。出来れば液晶 TV 内蔵スピーカーも活かしたいところです。

液晶 TV により異なる結果が出るかもしれませんが、SOLO と液晶 TV を光ケーブルで接続することをお勧めします。こうすると TV 側の音声と SOLO の音声がずれが生じません。

お好みで両者の音量バランスをとっていただければ、本当にナチュラルなサウンドで TV 番組をお楽しみいただけます。

また SOLO の取説には記載されていませんが、TV からの音声信号が途絶えると（つまり TV をオフにすると）、きっかり 30 分で SOLO の電源も自動的にオフになります。

ただし TV がオフの状態でも SOLO をオンにするとこうはなりません。